

**和久井屋**

日常の經濟は ツルヤから

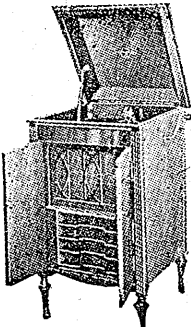
「何事も皆様のため」  
安心して實用品を安く買ふ  
事が緊縮の第一歩です  
それにはいつも

四丁目の  
**ツルヤ**  
電一四〇

◇し出賣安格具家用實◇  
三ツ方桐 廿七圓  
總用管 九圓  
總尺七 七圓  
台針七 七圓  
總箱七 七圓  
前針七 七圓  
火鉢 八圓  
ラッソ 八圓  
食卓 八圓  
花林 八圓  
其他種々 十五圓

指時計 常盤屋  
電三三九

何んでも揃ふ  
買い良い店  
コクムビヤ 三幸堂  
平二丁目



**冬の學生服**

是非冬服もなかやで  
コレなら自信を持てお奨  
め出来る生地裁縫共に申  
分ない黒小倉服です  
小學生用(長ツボン付)

1號	七八歳用	1圓80錢
2號	八九歳用	2圓00錢
3號	九歳用	2圓20錢
4號	十一二歳用	2圓40錢
5號	十二三歳用	2圓60錢

中學用生

6號	一二年生位	4圓20錢
7號	二三年生位	4圓40錢
8號	三四年生位	4圓60錢
9號	四五年生位	4圓80錢

各學校制定ボタンは15錢高  
中學外套も十月中旬より  
賣出します

なかや洋服店  
平二丁目電二〇三

**阿康藥店**

靈藥ムテキ

切斷の苦しみなく……  
ゆびはれ、やけど、淋病  
梅毒、きりきり、乳はれ  
くさ、りうまちす、乳はれ  
其他化膿するもの一切

發賣元

スグキク……風、頭痛、  
効力本位……神經痛、  
丹波博士創製 たんばあめ  
セキトメ

ラヒト 有偽物  
要注意

うまくてセキ  
ガヨクトマル

縣社下古御治町(電話四四番)

**耳鼻咽喉科専門**

場所 (舊診療所裏通り)

**合津醫院**

平町仲田町(電話五五九)

貸切自動車の御用命は  
昭和タクシーへ

高級車で乗心地の好い  
昭和タクシー

電話は 三四三番

平驛前

**平町吉田眼科醫院**

**常盤新聞**

日刊 發行編輯人 川崎文治

本社 同香地(電話六三〇番)  
印刷所 常盤印刷所

一部金貳錢  
一月五圓  
三月十五圓  
半年三十圓  
一年六十圓

廣告 五號十二行  
一頁 五圓  
一頁 十圓  
一頁 二十圓

休 日 曜 大 祭  
日 祝 日 祭

福島縣石城郡平町長橋町三三五  
發行所 常盤毎日新聞社  
電話六三〇番

刊 日 五 十 月 一 十

無駄排除と  
消費節約の優劣

衆議院議員 堀切善兵衛

(土)

然るに無駄排除は之に依り  
て生産的の行爲を變じて  
生産化せしめ冗費を節して  
有用化せしめ時間的にも空  
間的にも人間の活動を合理  
的ならしむるものなるが故  
に最も進歩したる經濟的觀  
念より出立するものと言ふ  
ことが出来る、世間或は消費  
節約は無駄排除を包含する  
ものと疑ふ者もあるけれど  
も斯の如きは誤れるの甚し

きものなり、即ち消費節約  
は消極的に一切の消費を減  
縮せんとするものなるに反  
し、無駄排除は積極的に理  
智の判斷に依りて玉石を鑑  
別し無用の出費を變じて最  
も有効有用に利用せんこと  
を期するものなるを以て産  
業の合理化は此無駄排除を  
以て其第一歩を踏出したる  
ものと言ふことが出来る。

凡そ社會の生産總額中無駄  
に消費せらるゝ部分多けれ  
ば多きだけ將來の生産は増  
加することが出来ない又贅  
澤奢侈品の生産に社會の資  
本と努力とが注がれると多  
ければ多きだけ日用必需品  
の生産にけられるべき資

本努力は削減せらるゝを以  
て將來に於ける社會の生産  
總額は増大するを得ざる筈  
である。然るに此種の社會  
的無駄を排して社會の資本  
と努力とが多數國民の必需  
品の生産に主として傾注せ  
らるゝ場合には其生産總額  
も増加し従つて國民各自の  
消費の分量も増大する次第  
である。今日何れの國に在  
りても物資に對する需要の  
最も大なるは實に日用必需  
品に對する國民多數の需要  
たることは争ふ事が出來な  
い



**大都會**

鈴木傳明 渡邊篤主演  
藤野秀夫 新井淳主演

◆日活大作名畫  
小川隆 梅村琴子主演  
宿命史 熱 火全  
淺香新八郎 川上彌生  
久米 讓 助演

◆實演餘興◆  
世界的名犬のレウユーと  
露國美人の舞踊

◆種目◆  
ヘドウィツク  
グルーベル嬢一行  
裸形 コミック オペラ  
チャールストン  
オリエンタルダンス其他  
名犬演技  
ハーモニカ 吹奏  
ダンス 數番  
空中曲藝 其他

◆十六日ヨ五日間 料金 普通 平館

田中絹代 岡村文子  
野寺正一 助演

**銘仙大市**を開催します

十七日 十八日 十九日 二十日

編 銘仙……四圓五十錢  
解 銘仙……五圓五十錢

……お早い丈け柄の選擇が自由です……

◆御婚禮の御支度吉凶の  
御引物は特に御つとめ申上ます

平町三丁目 **中野吳服店**

セメント  
壁用材料  
コーラタール  
ペンキ塗料  
板ガラス

警城セメント株式會社  
代理店 **西村屋藥舖**  
平町二丁目(電三)

# 六町議第二回の 説明書を論ず

## 自説に確信を持たぬ 無責任さを暴露

野崎満藏氏一派の六町議は連名を以て先きに平町上水道擴張工事計劃に對する反對聲明書を配布し

**識者の** 擯斥を買つたが更らに本日町民諸君に訴ふと稱して第二回の説明書を配附した。先には三萬圓内外の唧筒揚水にて事足りりと稱するのみにて何等具體案を示さず唯單に平町の擴張計劃を杜撰なりと罵るのみであつた爲め道般町會に於ても其の無責任な態度に對して

**具体的** 立案の提示を迫られたが今回の第二回説明書に依つて見れば「巖きに其の工費を三萬圓内外と發表したるも」と前提し工費は一萬五千圓で足ると記してある、斯くの如く

**三萬圓** 内外が一舉半減の一萬五千圓に低下するが如きは愈よ出て、奇怪千圓と云はなければならぬ、六町議は町當局の同計劃に對する豫算の立て前が杜撰であるとして居たが聲明書が改まつて一萬五千圓の差額を生ずるが如き

**不安定** なるソロバン勘定こそ杜撰であると云はずして何んぞ然も第二回の

擴張案が平町永遠の最善策である事の裏書として容認すべく議論の餘地はないのである

## 釣銭を口實に 農具屋の詐欺

石城郡飯野村大字荒川字諏訪下農自稱志賀光成(五九)は去る一日正午神谷村字出口飲食店營業志賀政五郎方に來り同村中神谷村鷹崎庄吉に稻掛細木(代金十六圓五十錢)を賣却したが先方より二十圓出されて釣銭に困つたからとて現金三圓五十錢及び酒三合を借り其後何等の音信なく不審を抱いた志賀方では鷹崎方に問合せと細木等買入れた覺えがなるとの事始めて始めて欺かれた事を知り平署に告訴した

## 町村長會 切捨て承認

磐銀の公金

石城郡町村長會總會は十四日午前九時から平町訓育院に開催各種實業團體事務所移轉費一千圓の分擔方法を地元の平町が二百圓支出し残る八百圓は一町村平均割に決定午後一時から磐城銀



老人は食後に  
晝寝なき

支那の中流以上の家庭では老人の傍らには常に寢を設けてやつていつでも横になれるやうになつて居るさうですが食後にもよく眠氣を催すものでこれは食物の消化中は消化をたすけるための方へ送る血液を胃腸の方に多く送るのでこれがために眠氣を催すのだから食時に眠くなつた時は遠慮なく眠つた方がよろしいので

## 矢野平署特高課長の 横山氏に傷害を加ふ

### 警察官にあるまじき暴舉 聲明書の手續問題で

別項平町六町議の聲明書なるものは昨日午後九山活版所に於て刷上りしものにて夫れを本日の新開折り込みとなして平町に

**配布した** のであるが出版法第三條には

文書圖畫を出版するとき

は發行の日より到達すべき日数を除き三日前に製本二部を添へ内務省へ届出すべし

と明記あり聲明書の如き當

## 河北新報 の横山平

支局長は本日平署に矢野特高課長を訪ね右に對し取締官は如何なる處置を講ずべきかを難詰した處昂奮した矢野課長は横山氏に對し遂に「貴様」と口をすべらした爲め大激論とアワヤ

## 大立廻り を演せん

とせる際矢野課長は横山氏の右手を捉へその指に捻挫傷を負はすに至つたが時恰も大演習に際し思想取締り其他最も慎重なる態度を以つてせねばならぬ特高課長要の位置に在りながら「貴様」と云ふが如き暴言を吐いて他の事務の

**障害をも** 顧みず大聲を以つて議論を爲すが如きは甚だしき不見識であるばかりでなく剰え傷害を加ふに至つては警察官として言語に絶する暴舉と云ふを得べく横山氏は署長の留守を預る鯨岡警部補の責任ある答辯を求めて直ちに傷害

## 婦人會役員 夫々選任さる

罪の告訴を爲すといふ

平町の

▲總理、伏見彦衛▲副總理吉田利吉、曾我直治、佐藤一

▲會長伏見チヨ、▲副會長木村かつ子、諸橋令子

▲常任幹事、曾我和嘉、樋口シツ、三井ミキ、井上セツ、矢吹キク、唐土美代

▲方部幹事(長橋町)川崎トク、山内ノブ(研古町)神谷フヂノ、橋本キシ(細屋町)山崎里子、(田町)藤田ミエ、中島イマ(一丁)鷹崎千代、明智イタ

## 飲み歩き 浴場でお陀佛

内郷村宮字高坂大友寅吉方新瀉縣生れ磐城炭礦坑夫加藤金八(四〇)は十三日坑内より歸宅し飲食店二三ヶ所を飲み歩き同夜十一時頃同炭坑夫共同浴場に入浴したが心臓麻痺を起して死亡した

## 家畜保險組 設立の協議

石城郡產馬組合に於ては家畜保險組合設立促進の爲め來る二十七日午前十時より同組合事務所にて協議會を開會する由

## 平町人專

△出生

△九品寺前百二十九當時東京府下西東鴨邊藤宗光氏三女ヨシ子

明日の  
北東の風  
曇り勝ち  
雨模様

眼鏡  
トキハヤ  
平一